

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-A5 現代経済と企業活動		
テーマ責任者	藤田 渉	責任部局	経済学部
対象学部	多文化社会学部・教育学部・薬学部・水産学部		
趣 旨	現代社会の安定と繁栄は、限られた資源を有効に活用し生活水準を維持発展させる仕組みとしての経済活動のもとに成立している。こうした経済の仕組みを、その原理や制度、歴史的変遷、国や地域間の比較など幅広い観点から考察することにより、複眼的で幅広い視点を獲得することを目的とする。本モジュールの履修により、経済学の体系に沿って統一的に学ぶことが可能となる。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家計・企業の行動原理および市場のしくみを説明できる:科目「経済活動と社会」 ・企業の行動について、会計の視点から理解できる:科目「企業の仕組みと行動」 ・政府や中央銀行の経済政策を理解できる:科目「経済政策と公共部門」 ・国際的な問題とそれに関係した事象についての現状と課題を説明できる:科目「国際社会と日本経済」 Describing today's international affairs and relevant topics: "Global society and Japanese economy" ・日本の地域社会の発展や経済の歩みを論理的に考察できる:科目「地域社会と日本経済」 ・戦略と組織の観点から企業行動を分析できる:科目「企業行動と戦略」 ・貨幣と金融取引、金融制度のしくみについて説明できる:科目「社会制度と経済活動」 ・種々の経営情報を基にした企業の活動を理解できる:科目「経営情報と会計情報」 ・教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通して関連目標の達成をめざす(全学モジュール共通目標) ・以上を通して、物事を多面的に捉え広い視野から考える能力を身につける(全学モジュール共通目標) 		
学生の皆さんへのメッセージ	前提知識はとくに問わないが、経済や企業について広い関心のある者、先人や他者から謙虚に学び、学習を進めていくことに関心のある者の受講を希望する。また、新聞や日々のニュースに耳を傾けることが、社会現象の観察眼・批判的思考力を向上させる機会となることを念頭に受講しなければならない。		

	科目名	担当者名	概 要	キーワード
モジュールⅠ	経済活動と社会	藤田 渉	家計や企業は経済社会におけるプレーヤーである。また市場は、家計や企業といったプレーヤーが活動する場である。家計・企業の行動原理および市場のしくみについて理解する。	家計, 企業, 市場
	企業の仕組みと行動	星野 光秀	企業の活動を支えかつ不可欠なのが企業会計である。企業会計の基本的な仕組み、内容について理解する。	会計, 意思決定, 利害関係者
	経済政策と公共部門	笹川 篤史	自由経済社会においても、政府は重要な機能と役割を持っている。政府の行動が経済活動に与える影響に注目し、同時に我々の生活圏としての「公共空間」の意味を理解する。	政府, 地方政府, 政策, 市民参画
モジュールⅡ	国際社会と日本経済 Global society and Japanese economy	成田 真樹子	経済活動は国境を超える。輸出入やお金の移動、労働者の移動などの問題を通じ、グローバル化による効果と課題について理解する。More and more business activities develop globally. We study the effects and problems around them, i.e. trading of goods, capital, laborers.	グローバル化, 貿易, 国際投資, globalization, trade, foreign direct investment
	地域社会と日本経済	福澤 勝彦	日本の社会・経済が持つ独自性や強み、日本経済の歩みを振り返り、日本や地域の固有の経済問題を考察する。	日本, 地域, 社会, 歴史
	企業行動と戦略	勝又 壮太郎	戦略の本質は、どう生きるか、である。自立, 依存, 共棲, 乗っ取り, 身売り, いろいろある。戦略と組織の観	戦略, 組織, 事例研究

			点から、トヨタ、ウォルト・ディズニー、ロック・バンド、零細企業など、種々の事例を取り上げて分析する。	
社会制度と経済活動	神藺 健次		我々は、モノやサービスの購入などの経済活動を行うためににお金を必要とする。お金の価値が守られるための金融のしくみについて、考察する。	貨幣、中央銀行、金融システム
経営情報と会計情報	庵谷 治男		企業はいかなる考えで日々の活動を行っているか、その考え方について考察する。	意思決定、イノベーション

全学モジュールの目標 キーワード、および授 業編成の視点との対 応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
経済活動と社会	◎	◎	○		○		◎		○	○	◎	○	○			◎	○
企業の仕組みと行動	○	◎					◎			○	○	○				◎	
経済政策と公共部門	◎	◎					◎		○	○	◎	○				○	
国際社会と日本経済 Global society and Japanese economy	◎	◎	○			◎	◎		○	○	○	○	○			○	◎
地域社会と日本経済	◎	◎	○		○		◎		○	○	◎	○	○		◎	○	
企業行動と戦略	◎	○	○		○		◎	○	○	◎	○	◎		○	◎	○	○
社会制度と経済活動	◎	◎	○		○		◎				◎	○				◎	
経営情報と会計情報	○		◎	◎	◎		○		◎		○	○					○
◎(特に重要)の数	6	6	1	1	1	1	7	0	1	1	4	1	0	0	2	4	0
○(重視)の数	2	1	5	0	4	0	1	1	5	5	4	7	3	1	1	3	3

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目